

科目名	イベント制作Ⅲ		担当講師	千葉彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベントにおける電源供給・保守管理				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態 演習
期間	5・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	180/135 分
期	修 得 目 標				
5期	1年生で学んだことをもとに、実際に『新入生歓迎ライブ』『定期公演』を企画、制作、実施。準備を通して制作・運営方法を修得する。 また、2つのイベントの準備を同時に行い、作業分担についても実践をもって修得する。				
6期	『定期公演』の実施を振り返り、会館の利用方法・広報活動・集客方法・イベント予算・経費・仕事効率についても実践をもって修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日 4月18日	オリエンテーション	『新入生歓迎ライブ』 役割分担、テーマ決め・運営スケジュール確認 『定期公演』 役割分担の説明・テーマ決め・運営スケジュール確認		
2	4月22日 4月25日	『新入生歓迎ライブ』	配布資料作成・スケジュール計画・台本資料作成		
3	5月6日 5月9日	『新入生歓迎ライブ』	台本配布・配布資料作成・本番シミュレーション・最終打ち合わせ		
4	5月16日 5月20日	『新入生歓迎ライブ』	反省会・資料片付け 『定期公演』 テーマ決定・SNS開設・チーフ会議実施計画		
5	5月23日 5月27日	『定期公演』	演出プラン立案・進捗予定表の作成・進捗状況報告・打ち合わせ		
6	5月30日 6月3日	『定期公演』	演出プラン立案・進捗予定表の作成・進捗状況報告・打ち合わせ		
7	6月6日 6月10日	『定期公演』	演出プラン決定・メインビジュアル立案・ポスター発注・進捗状況報告		
8	6月13日 6月17日	『定期公演』	演出セット立案・紙媒体の構成立案・進捗状況報告・打ち合わせ		
9	6月20日 6月24日	『定期公演』	演出セット立案・紙媒体の構成立案・進捗状況報告・打ち合わせ		
10	6月27日 7月1日	『定期公演』	演出セット決定・紙媒体資料作成・ゲスト決定・進捗状況報告		
11	7月4日 7月8日	『定期公演』	演出セット決定・紙媒体資料作成・ゲスト決定・進捗状況報告		
12	8月19日 8月22日	『定期公演』	舞台図面作成・各セクション進捗状況報告・打合わせ (各セクションに分かれて作業実施)		
13	8月26日 8月29日	『定期公演』	台本作成、進捗状況確認・打ち合わせ (各セクションに分かれて作業実施)		/ 定期試験対策
14	-				
15	-				
評価方法	【B】 定期試験点数(30%)＋実技修得度(30%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	91時間中31時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	マネジメント I		担当講師	佐藤 喬	
講師実務経験	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントで2012年～現在までアーティスト、タレントの新人発掘及びマネジメント業務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		講義
期 間	5・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	アーティスト・タレントのマネジメント業務の基礎を修得する。				
6期	アーティスト・タレントのマネジメントについて実務を踏まえて修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日	オリエンテーション / マネジメント概要・基礎①			
2	4月25日	マネジメント概要・基礎②			
3	5月9日	イベント、ライブにおけるマネージャーの役割 / 仮想イベントを制作してみよう			
4	5月16日	モバイル市場の発展とSNSについて			
5	5月23日	Youtube発展の歴史と使い方について			
6	5月30日	マネージャーが出来る事・制作について			
7	6月6日	宣材写真について・アーティスト資料の作り方と実践			
8	6月13日	新人発掘について・実践			
9	6月20日	ブレインストーミングとプレゼンについて			
10	6月27日	年間スケジュール制作①・各チームでの“年間スケジュール計画”を制作			
11	7月4日	年間スケジュール制作②・続き			
12	8月22日	年間スケジュール制作③・各チームのプレゼンテーションと感想			
13	8月29日	各チームでのプレゼンテーション発表と感想 続き / テスト対策			
14	-				
15	-				
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅱ		担当講師	佐藤 直子	
講師実務経験	建築士・インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態
期 間	5・6期	総授業回数	7(6) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	基本操作+応用ツール .立体を理解し3Dび操作 図面の種類と必要性を修得する。				
6期	図面の種類と必要性を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	授業ガイダンス、図形製作(建具等)によるツール操作等確認			
	4月26日	授業ガイダンス、図形製作(建具等)によるツール操作等確認			
2	11月27日	レイヤー機能について. 寸法線カスタマイズ、グリッドについて 利用した図面の作り方	課題(グリッド機能を利用)		
	5月17日	レイヤー機能について. 寸法線カスタマイズ、グリッドについて 利用した図面の作り方	課題(グリッド機能を利用)		
3	5月24日	壁ツールについて	課題1(壁ツールを利用した間取り製作)		
	5月31日	壁ツールについて	課題1(壁ツールを利用した間取り製作)		
4	6月7日	課題2(壁ツールを利用)			
	6月14日	課題2(壁ツールを利用)			
5	6月21日	平面図.立面図.展開図(図面の種類について)、データの取り出しと変換について			
	6月28日	平面図.立面図.展開図(図面の種類について)、データの取り出しと変換について			
6	7月5日	他ソフトとの互換性について、課題(イラストレータ.Photoshopの利用の仕方)			
	8月23日	他ソフトとの互換性について、課題(イラストレータ.Photoshopの利用の仕方)			
7	8月30日	過去のデータを利用したPlan制作について(課題) まとめ			
8	-				
9	-				
評価方法	【C】 実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	パソコン実習Ⅱ		担当講師	熊谷めぐみ	
講師実務経験	広告会社勤務・現フリーランスライター				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態 演習
期 間	5・6期	総授業回数	7(6) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
5期	パソコンの基本・応用操作、Officeの基本・応用を修得する。				
6期	パソコンの基本・応用操作、Officeの基本・応用を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月19日	授業ガイダンス 1年の復習			
	4月26日	授業ガイダンス 1年の復習			
2	5月10日	Excel: 検索行列関数等の習得			
	5月17日	Excel: 検索行列関数等の習得			
3	5月24日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
	5月31日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
4	6月7日	Word: ビジュアル文書作成 Excel: 情報処理検定準2級問題演習			
	6月14日	Word: ビジュアル文書作成 Excel: 情報処理検定準2級問題演習			
5	6月21日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
	6月28日	Excel: 情報処理検定準2級問題演習 PowerPoint: スライドの作成と編集			
6	7月5日	5期・6期の復習			
	8月23日	5期・6期の復習			
7	8月30日	PowerPoint: スライドの作成と編集			
	-				
	-				
評価方法	【C】実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA基礎実習				担当講師	森 良太		
講師実務経験	音響会社勤務							
対象学年	2	学年	対象専攻	コンサートイベント専攻		授業形態	実習	
期 間	5期・6期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間		135	分
期	修 得 目 標							
5期	基本的な信号の流れや仕組みの知識を修得する。							
6期	簡易的な仕込み、オペレート操作の実技を修得する。							
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	4月19日	授業ガイダンス及びホール見学						
2	4月26日	授業ガイダンス及びホール見学						
3	5月10日	音の信号の流れ、必要機材について						
4	5月17日	音の信号の流れ、必要機材について						
5	5月24日	ケーブル、及びマイクスタンドの扱いについて						
6	5月31日	ケーブル、及びマイクスタンドの扱いについて						
7	6月7日	配線、機材操作について						
8	6月14日	配線、機材操作について						
9	6月21日	仕込みから音出しまでの練習						
10	6月28日	仕込みから音出しまでの練習						
11	7月5日	実技テスト						
12	8月23日	実技テスト						
13	8月30日	試験対策						
14								
15								
評価方法	定期試験点数(70%)実技修得度(30%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:B							
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト								
注意事項	39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)							

科目名	ビジネスマナーⅡ		担当講師	木下 有希	
講師実務経験	マナーインストラクターとして、企業研修や各種学校でマナー指導に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態 講義
期 間	5・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
5期	1年次に修得したことを応用し「サービス接客実務検定2級」合格を目標とした知識を修得する。				
6期	コンサート、イベントの制作スタッフや社会人に必要なビジネスマナーを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	敬語の復習			
2	4月27日	記述問題の記入の仕方			
3	5月18日	社交儀礼			
4	5月25日	過去問題			
5	6月1日	過去問題			
6	6月8日	過去問題			
7	6月15日	検定振り返り			
8	6月22日	過去問題(5/23振替)			
9	6月29日	過去問題(5/23振替)			
10	7月6日	過去問題(5/23振替)			
11	8月17日	過去問題(5/23振替)			
12	8月24日	過去問題(6/2振替)			
13	8月31日	過去問題(6/2振替)			
14	-				
15	-				
評価方法	【A】 定期試験点数(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ファンクラブ運営 I		担当講師	作山 厚	
講師実務経験	ファンクラブサイト運営会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	90 分
期	修 得 目 標				
5期	ファンクラブ運営の具体的な仕事内容を把握し修得する。				
6期	ファンクラブ運営の職種や必要スキルを理解し修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	授業ガイダンス / ファンクラブ運営概要① -ファンクラブとは?-			
2	4月27日	ファンクラブ運営概要② -求人状況と探し方 -			
3	5月18日	ファンクラブ運営概要③ -アーティスト事務所との関係とビジネスモデル-			
4	5月25日	ファンクラブ運営の仕事内容① -リリース情報解禁 -			
5	6月1日	ファンクラブ運営の仕事内容② -ツアー情報解禁 -			
6	6月8日	ファンクラブ運営の仕事内容③ -チケット先行 -			
7	6月15日	ファンクラブ運営の仕事内容③ -ライブ連動施策の企画と実施①-			
8	6月22日	ファンクラブ運営の仕事内容④ -ライブ連動施策の企画と実施②-			
9	6月29日	ファンクラブ運営の仕事内容⑤ -ライブ連動施策の企画と実施③-			
10	7月6日	ファンクラブ運営の仕事内容⑥ -ライブ連動施策の企画と実施④-			
11	8月17日	ファンクラブ運営の仕事内容⑦ -ライブ連動施策の企画と実施⑤-			
12	8月24日	ファンクラブ運営の仕事内容⑧ -ライブ連動施策の企画と実施⑥-			
13	8月31日	ファンクラブ運営の仕事内容⑧ -ライブ連動施策の企画と実施⑦-			
評価方法	作品提出評価(100%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	プランニングⅢ		担当講師	横山 聡史	
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態 講義
期間	5・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 90 分	
期	修 得 目 標				
5期	自ら情報収集して企画立案し、企画書を制作する過程を学び修得する。				
6期	実施案を作成し、詳細まで煮詰めていく過程について学び修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月20日	グループ分けを行い、企画テーマについてオリエンテーション。グループごとに基本的な案出し(ブレインストーミング)を行い、課題解釈力と発想方法を学ぶ。			
2	4月27日	企画実習① 情報やデータ収集とともに、グループ内での円滑なコミュニケーションについて学ぶ。			
3	5月18日	企画実習② 積極的に企画に参加することで、協調性とリーダーシップを如何に保持するかについて学ぶ。			
4	5月25日	企画実習③ 出された案を整理・統合し、企画案としてまとめていく過程を学ぶ。			
5	6月1日	企画実習④ プランをまとめ、説得力のある企画書を制作する方法を学ぶ。			
6	6月8日	企画案プレゼンテーション 如何に相手にわかりやすく伝え、質問にも明確に返答できるようになるための手法を学ぶ。			
7	6月15日	実施案制作① マスタースケジュール・進行プログラム・運営組織図など、実施案に必要な項目について学ぶ。			
8	6月22日	実施案制作② スケジュール・備品リスト・広報計画の作り方について学ぶ。			
9	6月29日	実施案制作③ 実施案で問題が発生した場合、必ず企画の基本(目的とターゲット)に立ち返ることを学ぶ。			
10	7月6日	実施案制作④ 実施に必要な原価の調べ方と見積り制作方法を学ぶ。			
11	8月17日	実施案制作⑤ 実施案で制作する書類のフォーマットと整理の仕方について学ぶ。			
12	8月24日	最終プレゼンテーション 提案時の話し方や態度など、説得力を持たせる手法を学ぶ。			
13	8月31日	企画の相互評価 各々の企画内容について全員で意見を出し合い、客観的評価の重要性を学ぶ。			
14	-				
15	-				
評価方法	【A】 定期試験点数(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名		制作実習Ⅱ		担当講師	千葉彩乃	
講師実務経験		コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態	演習
期 間	5・6期	総授業回数	7・6 回	1回あたりの授業時間		270 分
期	修 得 目 標					
5期	ライブ実践により、舞台監督・進行スタッフ・ケータリング業務・アーティストケアを学び修得する。『新入生歓迎ライブ』・『定期公演』の準備を実施し、制作業務の流れを修得する。					
6期	ライブ実践により、舞台監督・進行スタッフ・ケータリング業務・アーティストケアを学び修得する。『定期公演』準備を実施し、各セクションの仕事を理解し制作進行の一連の流れを把握し修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	4月14日	①班 / オリエンテーション・『新入生歓迎ライブ』実施準備				
	4月21日	②班 / ライブ実習-①				
2	4月28日	①班 / 『新入生歓迎ライブ』実施準備				
	5月19日	②班 / 『新入生歓迎ライブ』資料整理・『定期公演』実施準備				
3	5月26日	①班 / ライブ実習-①				
	6月2日	②班 / 『定期公演』実施準備				
4	6月9日	①班 / 『定期公演』実施準備				
	6月16日	②班 / ライブ実習-②				
5	6月23日	①班 / ライブ実習-②				
	6月30日	②班 / ライブ実習-③				
6	7月7日	①班 / ライブ実習-③				
	8月18日	②班 / 『定期公演』実施準備 ・ 定期試験対策				
7	8月25日	①班 / 『定期公演』実施準備 ・ 定期試験対策				
	-					
	-					
評価方法	【B】 定期試験点数(30%)＋実技修得度(70%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト						
注意事項	42(36)時間中15(13)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名	DTP実習Ⅲ		担当講師	田口 広司	
講師実務経験	広告代理店のデザイナーを経て独立後、フリーランスデザイナーとして、グラフィックやWEB、映像など様々な媒体の広告制作を行っています。				
対象学年	2 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	7・6 回	1回あたりの授業時間	
期	修得目標				
5期	Illustrator、Photoshopの使用方法を修得。1年生で学んだことを応用し作品を制作を修得する。				
6期	Illustrator、Photoshopの使用方法を習得し、イベントのプロモーション業務に必要な印刷物の基礎技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	自己紹介 / 授業ガイダンス / 1年生で習った基本的な操作のおさらい			
	4月21日	自己紹介 / 授業ガイダンス / 1年生で習った基本的な操作のおさらい			
2	4月28日	印刷方法、レイアウトの4原則+1について学ぶ / 既存のデザインを見て技術を学ぶ			
	5月19日	印刷方法、レイアウトの4原則+1について学ぶ / 既存のデザインを見て技術を学ぶ			
3	5月26日	イベントのチラシを作る1(制作するデザインを考える)			
	6月2日	イベントのチラシを作る1(制作するデザインを考える)			
4	6月9日	イベントのチラシを作る2(考えたデザインを実際につくってみる)			
	6月16日	イベントのチラシを作る2(考えたデザインを実際につくってみる)			
5	6月23日	イベントのチラシを作る3(考えたデザインを実際につくってみる)			
	6月30日	イベントのチラシを作る3(考えたデザインを実際につくってみる)			
6	7月7日	イベントのチラシを作る4(発表)			
	8月18日	イベントのチラシを作る4(発表)			
7	8月25日	後期に向けた講義			
	-				
評価方法	C評価				
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	24(18)時間中 9(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	体カトレーニングⅡ		担当講師	MASA先生	
講師実務経験	ダンススタジオ勤務・ダンスインストラクター・イベント主催、企画、運営				
対象学年	運営 学年	対象専攻	コンサート・イベント専攻		授業形態
期 間	5・6期	総授業回数	7(6) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	強い身体と精神の修得				
6期	強い身体と精神の修得やり遂げる精神の修得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	授業ガイダンス・体カトレーニング			
	4月21日	授業ガイダンス・体カトレーニング			
2	4月28日	体カトレーニング			
	5月19日	体カトレーニング			
3	5月26日	体カトレーニング			
	6月2日	体カトレーニング			
4	6月9日	体カトレーニング			
	6月16日	体カトレーニング			
5	6月23日	体カトレーニング			
	6月30日	体カトレーニング			
6	7月7日	実技テスト・まとめ			
	8月18日	実技テスト・まとめ			
7	8月25日	まとめ			
	-				
	-				
評価方法	実技修得度(100%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21(18)時間中8(7)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
6期	活動の幅を持って就職内定を勝ち取る為のスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス 応募書類の確認/就職活動計画			
2	4月22日	自己PR、志望動機作成対策①			
3	5月6日	面接のポイント①/面接対策実践①			
4	5月20日	オンライン面接について			
5	5月27日	メールの送り方			
6	6月3日	作文対策①			
7	6月10日	企業研修について(研修書類の説明含む)			
8	6月17日	自己PR、志望動機作成対策②			
9	6月24日	東京企業について			
10	7月1日	就職活動計画の見直し			
11	7月8日	面接のポイント②/面接対策実践②			
12	8月19日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/受験の流れ確認			
13	8月26日	作文対策②			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	13時間中5時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	國本 昌秀	
講師実務経験	元HTB北海道テレビ勤務（記者・デスク、ディレクター、プロデューサーなど）				
対象学年	2 学年	対象専攻	2年A,B組		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
5期	ニュース・時事問題に関心を持ち、読み解く力を修得する。				
6期	ニュース・時事問題を読み解くことで、日常生活の思考・行動に活用する力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス・ニュースとは何か			
2	4月22日	18歳成人について			
3	5月6日	ウクライナ問題について			
4	5月20日	沖縄復帰50周年について			
5	5月27日	直近のニュースについて			
6	6月3日	動物愛護法改正について			
7	6月10日	参院選挙について			
8	6月17日	直近のニュースについて			
9	6月24日	直近のニュースについて			
10	7月1日	直近のニュースについて			
11	7月8日	参院選挙について			
12	8月19日	札幌市100年について			
13	8月26日	講義振り返り			
14					
15					
評価方法	定期試験点数、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など）				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業でプリント配布				
注意事項	13時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				